

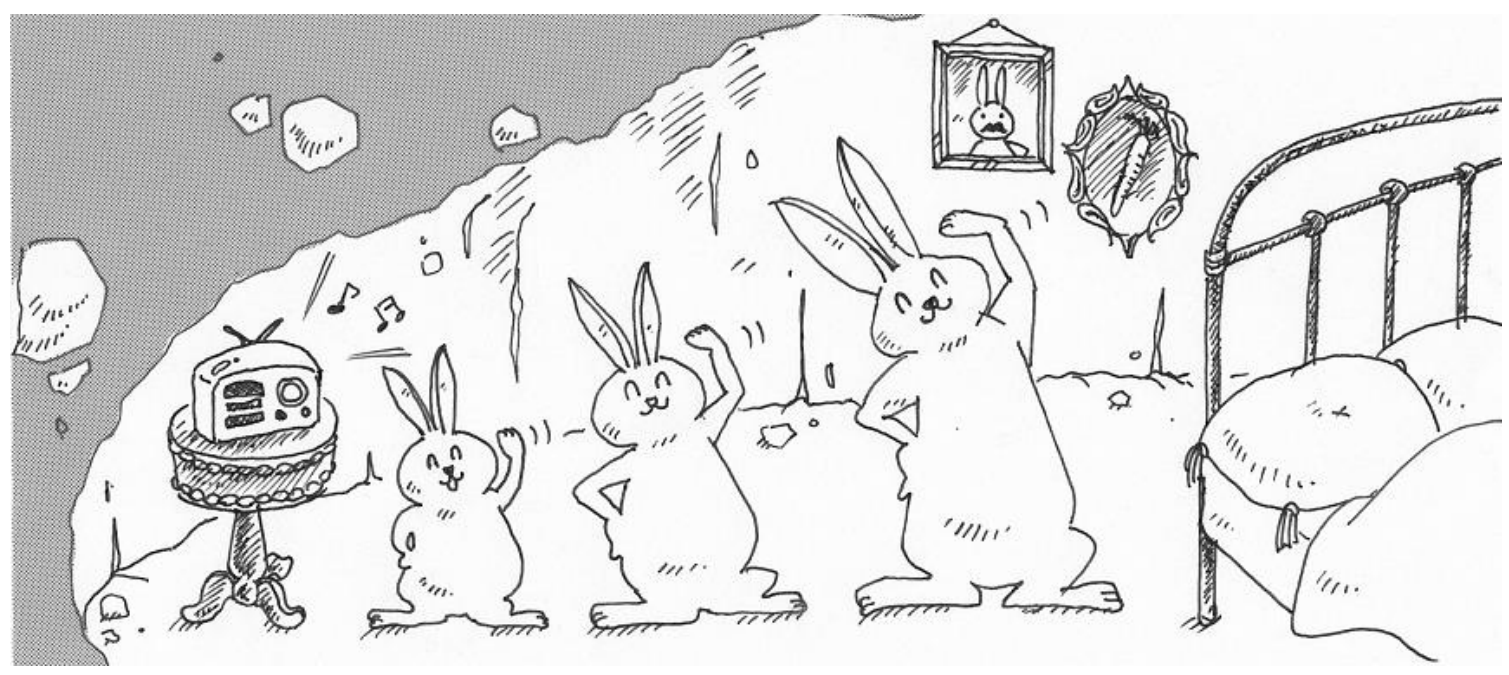
ラフルール

ニュース

3月号

2018年 vol. 80

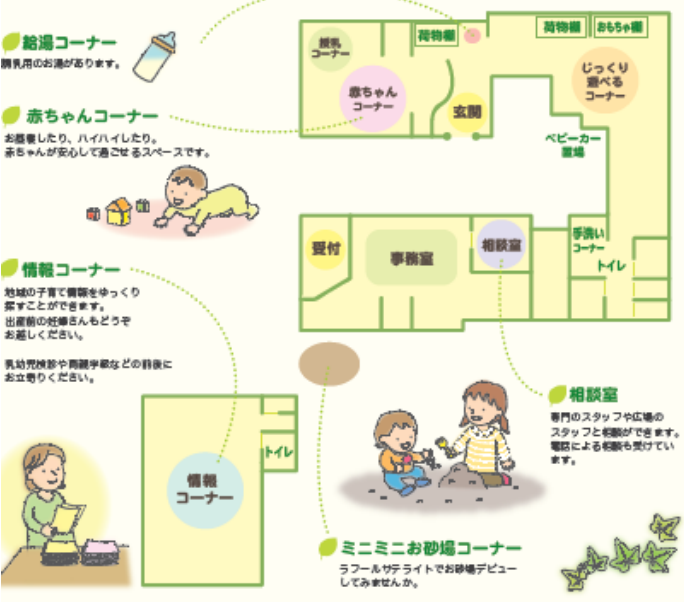
ラフルールのひろばから
ラママのほっとタイム
『 四季折々を親子で 』
『 ラママトーク 』
『 もし震災が起きたら… 』



「ラフルールサテライト」3月27日(火)市ケ尾にオープン! ~表紙記事からの続き~

ラフルールサテライトでは、
以下の3つのことを主に行います。

ひろば：妊婦さん及び未就学児とその家族が過ごせる
子育て相談：ひろば内や相談室での相談
情報の収集と提供：区内子育て情報の収集と提供



＜ラフルールサテライトひろばのご案内＞
開催日時：火曜日～土曜日 10:00～16:00
休日：日・月・祝日・年末年始
*初回に、お子さんの登録が必要です
*ラフルール利用カードは、青葉台/市ケ尾共通
青葉台ラフルールの利用者カードを
お持ちの方は、ご持参ください。
あらかじめ青葉台のラフルールで登録しておく
ご利用がスムーズです。
ご登録がまだお済みでない方には、
青葉台でのご登録をおすすめします。
*ランチタイムは12時～13時

ラフルールサテライトは、
青葉台のラフルールと共に子育ての拠り所として
区民に親しまれ、ホッとできる場でありたいと思
います。
乳幼児健診、母親教室、両親教室の前後や区役所へ
ご用の際は、「ラフルールサテライト」でひと休みし
ませんか。お待ちしております。

〒225-0024 青葉区市ケ尾町1152番地25 1F
(東急田園都市線「市ケ尾駅」徒歩7分)
*駐車場はありません

子サポから 横浜子育てサポートシステムってなあに?

地域の中でお子さんを有償で預けたり、預かったりする仕組みです。預けたい方(利用会員)と預かる方(提供会員)の出会いをコーディネートします。会員になるには入会説明会に参加してからの登録になります。ラフルールでの入会説明会以外でも、3人集まったら説明会を行います。ご相談ください。

「卒園式、入学式(学校行事)に下の子連れて行けないけど誰か預かってほしいかしら」「子どものお迎え間に合うかしら」ご家族だけでは対応がむずかしい、どうしよう?…そんな時は子サポを利用してみませんか?
質問や相談はいつでもお受けしています。お気軽にどうぞ♪

横浜子育てサポートシステム青葉区支部 ☎482-5518

ラフルールサテライトカレンダー

ラフルールサテライト3月の予定

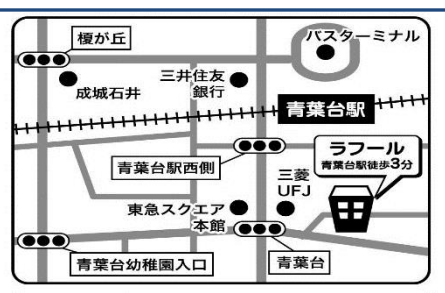
- 3月27日(火曜日) ~3月31日(土曜日) 10:00~16:00 通常ひろば開催
- 3月31日(土曜日)は 10:00~16:00 の中で 午前・午後 お楽しみの時間があります。

詳細は、3月に入ってから
ラフルールHP <http://lafull.net> &
ラフルールひろば内掲示でお知らせします

*情報コーナーご利用の際も、ひろばご利用の方も受付で入退館の手続きをお願いします。

＜「ラフルールサテライト」3月27日(火)市ケ尾にオープン!＞
青葉台のラフルールと同じく、妊婦さん及び未就学児とその家族のための施設です。
子育てで困ったり迷ったりした時には、「ラフルール」と「ラフルールサテライト」を思い出してください。ひろばを利用せずに情報だけを見に立ち寄ることも、電話で相談することもできます。
~裏表紙記事に続く~

~ラフルールへのアクセス~
〒227-0062 青葉区青葉台1-4 6階(東急田園都市線「青葉台駅」徒歩3分)
TEL: 045-981-3306 FAX: 045-981-3307
子育てパートナー専用 TEL: 045-479-5810 火~土曜日 10~16時
横浜子育てサポートシステム青葉区支部専用 TEL: 045-482-5518 火~土曜日 9~17時
●ホームページ <http://lafull.net> ●駐車場はありません
●休日/日曜・月曜・祝日・年末年始



ラフルールは
7つの♥を行っています!

- ひろば
- 子育て相談
- 情報の収集と提供
- ネットワーク
- 人材の育成
- 横浜子育てサポートシステム
- 利用者支援

青葉区地域子育て支援拠点ラフルールは、青葉区の委託を受けて、特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ パレットが区と協働で運営しています。

2018年3月 ひろばカレンダー

ひろばの中の予定は、随時変わります。ポスターやHPのブログでチェックしてくださいね♡

ラフルでは、カレンダーの予定に関係なく
火曜日～土曜日の10時～16時 毎日「ひろば」を開いています
「ひろば」は、子育て家族が過ごすことのできる場所です
いつでも相談できるスタッフがいます 子育て情報があります
支援の利用につながるまでサポートする「横浜子育てパートナー」がいます



専門の相談員にも相談できる日



センター保育士さんもいる日

火	水	木	金	土
		1	2	3
6	7	8	9	10
13	14	15	16	17
20	21	22	23	24
27	28	29	30	31

3月のひろば ピックアップ

◆5のつく日は 公園へGO!◆

近くの公園まで一緒にお散歩しませんか。ベビーカーでもOK。公園で思いっきり遊んでも、親子でのんびり過ごしてもいいですね。

◆ひろば内子育て講座◆

子育てで気になることを取り上げ、講師にお話しいただく子育て講座。ラフルでは、誰でも話を聞くことができる様に、ひろばの中で開催しています。予約不要♡

ひろばを利用している方でしたら、どなたでもご参加いただけます。今回のテーマは

『乳幼児家庭の防災講座 ～家族を守るために～』
横浜市男女共同参画推進協会より講師をお招きし、小さなお子さんのいるご家庭や子育て初めての保護者の皆様に向けた防災講座を開催します。ご興味のある方は、お気軽にどうぞ♡ (詳細は記事参照)



◆ふたご・みつこ あつまれ～◆ <要予約>

毎月第3土曜日、多胎児育児の子育て当事者どうしの交流と情報交換の場です。登録やひろばの受付を済ませてからの参加です。時間に間に合うようにお越しください。

◆障がい児の子育てサロン◆ <要予約>

昼食をはさみながら、未就学の障がい児を育てている方や障がいのある子育て中の方どうしておしゃべりしましょう。毎月第2木曜日開催。

◆ラフル OPEN DAY ～子育て支援拠点ってどんなトコ?◆

毎月第4土曜日 9:30～10:30
地域の方や支援者の皆さんに向けた施設見学日です。直接6階までどうぞ♡予約不要です。

◆ちょこっと見学 DAY◆

ラフル初めての妊婦さんや未就学児の親子向け見学日です。登録の有無に関係なく、ちょこっとだけ見学できます。その場で登録もできます。



『四季折々を親子で』

春・夏・秋・冬…お子さんが一緒にの今だからこそ、四季折々の変化や出来事を一緒に味わうことができますね。

ラフルでは、ひろばを利用して親子にお手伝いしてもらい、季節に合わせてひろばの壁面を飾っています。他にも、ひな人形や七夕飾りなど日本の行事に合わせた折り紙や工作をするコーナー、お月見や豆まきなど四季折々の絵本コーナーが登場することもあります。「ラフルで作ったら楽しかったので、今度は家でもやってみます。」「お月見なんて今まで気にしていなかったけど、子どもと一緒にすすきを飾ってみます。」お母さん方からは、そんな声も聞こえてきます。

特にテラスは季節を感じるには良い場所です。春は桜が見ながら期間限定のお花見ランチ。夏は小さなビニールプールで遊べます。小さなお子さんにとっては水遊びデビューになるかもしれませんね。秋は一年で一番外遊びしやすい季節。冬は冬で寒さに負けず親子でコートを着込んでテラスで遊んで過ごしています。冬限定のアウトドアアテントも登場しますよ。

子育ては毎日大変で日々の出来事に追われがちですが、季節を感じながら親子での時間を過ごしていけるといいですね。

ひろば内子育て講座

乳幼児家族の防災講座 ～家族を守るために～

皆さんは、東日本大震災が起きた時、どこで何をしていましたか？結婚されていませんか？お子さんはいらっしゃいましたか？ラフルでは、あの時の経験や教訓を忘れないように、毎年『防災講座』を開催しています。

また、他の防災講座では触れることの少ない「小さな子がいる家庭にとっての防災」を取り上げています。「あらためて考えたことなかった」という方は特に必見。是非、ご参加ください。

日程：2018年 3月 17日 (土) 14:00から20分程度

講師：男女共同参画横浜北アートフォーラムあざみ野 樋口氏

場所：ラフルひろば内 予約・申込・費用：不要

保育：なし (お子さんを側に置いて参加してください)

内容：①震災の記憶 『乳幼児のいる家庭が覚えておきたい事』

②基礎知識 『外出時災害にあったら』

『我が家を安全安心な場所に』

③防災に役立つ情報

*質問がある方は、終了後、講師に直接お声掛けください。



このコーナーはラフルを利用して「ラママ」編集メンバーが中心となってつくっています。今月も子育て中のあんなことこんなことおしゃべりしてみました。



子どもを守りたい! 「もし震災が起きたら・・・」

家族

- ・幼稚園まで距離があるけど自転車では行けるようにしています。
- ・3.11の時は独身でしたが、子連れの今、被災したらもっと大変だろうな。非常時のこと家族と確認しておきたいです。
- ・園はどこに避難するのか、すぐ迎えに行けない場合はどうするかなど確認したり家族で話し合っておきたいです。

家庭

- ・非常食たべてくれるかな?缶詰や保存食に慣れさせておいた方がいいかな?
- ・上の子はアトピー。薬のストックがなくなると困ります。
- ・紙オムツはないと困る。せめて、おしりを清潔に保つためにおしり拭きは多めに家にストックを!!
- ・震災直後は防災リュックなど用意していたが、あれ以来放置したまま。地震がある度それを思い出しドキッとします。
- ・ポリエチレン袋、お鍋、カセットコンロさえあれば、温かい食事を作って食べられる「バッククッキング料理」を作り慣れておきたいな。

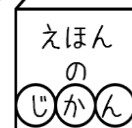
避難所

- ・住んでいる地区の避難所はどこか知っていますか?知らなければまずは確認をしたい。
- ・避難所では授乳はしにくい。ただ、授乳は赤ちゃんのゴハン。周りの方の温かい心で見守ってほしいです。ケープを忘れずに!
- ・ライフラインがとまると感染症が流行しやすい。乳児はすぐ口に手を入れるので、衛生グッズを備蓄しておきたい。
- ・避難所では緊張状態が続くそう。衣食に加えて絵本1冊くらい用意しておくとしは子どもに安らぎを与えられるのかな。
- ・避難所で配られる食事は、ほとんどが炭水化物。たんぱく質やビタミンが不足するので炭水化物以外の食料も備蓄するよう心がけてください。
- ・避難所での生活は迷惑かけそう…。できれば自宅避難がいいけれど。



ラママお薦めの本です。3.11の経験を基に、子連れ防災がリアルに、分かりやすく書かれています。

こちらは、ラフルの本棚にあります!いつでもご覧下さい。



『からすのパンやさん』 かこさとし 借成社



私が小さい頃に大好きでよく読んでいた本です。娘にも読ませたくて本屋で探しました。カラスたちのドタバタがおもしろく、たくさんパンが美味しそうでお腹が空いてしまいます。